白幡保育園

子ども同士の読み聞かせ（５歳児）

取組内容

●活動の切り替わりの時、3～４人の友だちに絵本を読んでいたＴ君。そこに片付けが終わった子どもが次々と加わり、いつの間にかクラス全員への読み聞かせが始まった。翌日も「みんなに絵本を読みたい！」と読み聞かせをすると、その姿を見て、「私も読んでみたい」とチャレンジする子どもが増えてきた。みんなの前に立ち、絵本を読もうとする友だちに「〇〇先生！」と呼んでみたり、終わると自然に拍手をし、「すごいね！」「△△がおもしろかった！」等の感想も伝え合ったりしている。

工夫したところ

●「見えない」「聞こえない」といった声があがった時はどうしたら良いかを子どもたちと話し合ったり、聞き手の様子に応じて読み手が体の向きや絵本の高さ、声量等気付けるような声掛け援助をしたりしている。

子どもの様子

●今までの集団での絵本の読み聞かせに興味がなかった子どもも、友だちが読むことで話を聞いてみようとするきっかけになった。読み手を経験したからこそ、聞き手になった時に静かに聞こうとする、思いやりも育まれている。家や遊びの中で、読み聞かせの練習をしている子もいた。

活動風景